

第261回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 令和4年9月28日(水) 午前11時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ 本社 大会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 7名

委員長	小松豊
副委員長	そのだつくし
委員	高橋惣兵衛
委員	佐竹雅之
委員	和田俊文
委員	石川健正
委員	樋口知志

欠席委員数 0名

会社側出席者名

代表取締役社長	畠山大
常務取締役兼 事務局長	小原洋
取締役 メディアビジネス 推進本部部長	三浦茂樹
報道制作局プロデューサー 事務局	斎藤恵 波岡功

4. 議 題

- (1) あいさつ
- (2) 10月単発・8月視聴率・8月視聴者応答記録について
- (3) 合評課題について
合評課題：第104回全国高校野球選手権岩手大会の実況中継
若手アナウンサーの中継ダイジェスト
放送日時：省略
- (4) 次回開催について
日 時：令和4年10月26日（水）午前11時30分～
場 所：岩手朝日テレビ 本社 大会議室
合評課題：テレビ朝日系列東北6局共同制作番組
「真夏の6県生中継 東北夏祭り 出てこいや！」
放送日時：8月3日（水）19:00～19:55
- (5) その他
全国番審代表者会議について

5. 概 要

夏の第104回全国高校野球選手権岩手大会で、若手アナウンサー3人が担当した実況中継のダイジェストについての審議

- ・初々しく、真面目で、そつがない、昔のような絶叫スタイルではなく、落ち着いた中継は、安心して見続けることができた
- ・3人ともそれぞれ色もあるが、差はなく、時代に合った中継だと感じた
- ・豪雨で中断した際も、過去の特集映像が用意されており、とても良かった
- ・実況アナはやはり両チームをできる限り公平に応援してあげる必要がある
単にプレーの一挙手一投足を客観的に実況するというだけでは、やや足りないような感じもします
- ・2人解説について、解説者の2人がお互いの解説内容を尊重し合って、少し自分の言葉を遠慮している感があった。あとは一つ一つの試合に対してどっちが解説するのか少し間があったと感じた